

2025年度 長岡大学シラバス

授業科目名	キャンパスライフ入門 (Orientation to Campus Life)					担当教員	石川 英樹 (イシカワ ヒデキ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2010-0-11-001	教養科目	必修	1単位	1年次	前期		
2024-25年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2410-0-11-001	教養科目	必修	1単位	1年次	前期		

① 授業のねらい・概要
長岡大学での4年間の大学生活を有意義に送るために必要な知識、大学から地域からの期待、社会生活のルールとマナー等を講義形式で学び、長岡大生としての自覚と誇りを持ち、社会で活躍する人材となって育って行くための心構えを学ぶ。キャリア開発に向けての土台作りの授業でもある。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力/地域社会に貢献する姿勢を養う授業である。
③ 授業の進め方・指示事項
授業担当教員および外部講師による講義形式の授業が中心だが、グループワーク等による授業も実施する。各回の授業内容は外部講師の事情等により講義日、内容が変わる場合がある。各授業の最後には授業内容に沿った課題を課す。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「ゼミナールⅠ(前)」、「ゼミナールⅠ(後)」「キャリア開発Ⅰ」、「日本事情」(留学生)
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
・山田剛史・林創(2011)『大学生のためのリサーチリテラシー入門—研究のための8つの力』ミネルヴァ書房 ・佐藤智明、矢島彰、安保勝也(2014)『3訂大学学びのことはじめ』ナカニシヤ出版
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
意義ある大学生活を送ることができるよう、また将来の目標を考えて充実のキャリア形成につながる土台作りに寄与する授業を目指します。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 大学及びその基盤としての地域の一員として身につけるべき知識を他者に説明できる。 (ii) 大学での学び方、マナーを他者に説明できる。 (iii) キャリア形成の土台となる知識を他者に説明できる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 大学・地域の一員として身につけるべき知識	大学・地域の一員として身につけるべき知識を資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している	大学・地域の一員として身につけるべき知識を資料等に頼らず説明できる	大学・地域の一員として身につけるべき知識を資料等を見ながら説明できる	大学・地域の一員として身につけるべき知識を資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	大学・地域の一員として身につけるべき知識を資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(ii) 大学での学び方、マナー	大学での学び方、マナーを資料等に頼らず他者に説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している	大学での学び方、マナーを資料等に頼らず説明できる	大学での学び方、マナーを資料等を見ながら説明できる	大学での学び方、マナーを資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	大学での学び方、マナーを資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(iii) キャリア形成の土台となる知識	キャリア形成の土台となる知識を資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた分析も説明できる	キャリア形成の土台となる知識を資料等に頼らず説明できる	キャリア形成の土台となる知識を資料等を見ながら説明できる	キャリア形成の土台となる知識を資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	キャリア形成の土台となる知識を資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 （レポート含む）	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		30%		20%		100%
(i) 大学・地域の一員として身につけるべき知識			10%				10%
(ii) 大学での学び方、マナー	25%		10%		20%		55%
(iii) キャリア形成の土台となる知識	25%		10%				35%
フィードバックの方法	希望者に課題やテストの評価を随時フィードバックする。						

⑪ 授業計画と学習課題		
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）
1	オリエンテーション、授業の実施法、何のために何を大学で学ぶのか	配布資料の復習、大学生活での目標の考察 120分
2	講義の受け方・ノートの取り方	配布資料の復習、授業ノートのとり方の見直し 120分
3	学長講話	配布資料の復習、社会人基礎力についての復習 120分
4	キャリア形成のための大学生活の過ごし方	配布資料の復習、これからの学生生活の設計 120分
5	課外活動の大切さ	配布資料の復習、課外活動の参加計画の検討 120分
6	SNS、インターネット利用におけるリスク管理	配布資料の復習、インターネットのリスク管理に関する復習 120分
7	くらしと税	配布資料の復習、税制復習 120分
8	資格・検定に取り組む意義、ボランティア体験の必要性	配布資料の復習、資格取得及びその学習計画の検討 120分
9	契約社会を生きる	配布資料の復習、自信臣の周りの契約に関する考察・振り返り 120分
10	大学でのレポートの書き方	配布資料の復習、レポートの書き方の復習 120分
11	インターネットを使った情報の調べ方	配布資料の復習、インターネット情報収集法の復習 120分
12	ワークルールについて	配布資料の復習、ワークルールに関する復習 120分
13	交通ルールについて	配布資料の復習、自転車・歩行者の安全に関する復習 120分
14	こころの健康	配布資料の復習、こころの健康について復習 120分
15	振り返りとキャリア開発に向けて	配布資料の復習、自身のキャリアについての考察、全体の振り返り 120分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型ALを採用する。振り返りシート等の内容をもとに考察し、学修内容を確認する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性